

弘前大学学報



平成28年度秋季学位記授与式

第 150 号
平成28年9月号

目 次

学内ニュース

○『大学生観光まちづくりコンテスト青森ステージ』ポスターセッション優秀賞	1
○人文社会科学部 講演会「International Forum2016」を開催	2
○「第10回弘前大学鷹揚さくら会」を開催	3
○ウズベキスタンのタシュケント州立農科大学と30校目の大学間交流協定締結	4
○「弘前大学グリーンカレッジ」平成28年度第1回ホームルームを実施	5
○ウズベキスタンのサマルカンド農業学院と28校目の大学間交流協定締結	6
○中華人民共和国の新疆工程学院と29校目の大学間交流協定締結	7
○学長定例記者会見を実施	8
○弘前大学名誉博士称号授与式を実施	9
○食料科学研究所「青森フルコース社会実装試験（演奏公演・試食会）」開催	10
○生涯学習教育研究センター「白神自然環境人材育成講座」開講式を実施	11
○平成28年度秋季学位記授与式を挙	12

諸 会 議	14
-------	----

人 事

○人事異動	18
-------	----

主要日誌	20
------	----

学内規則	21
------	----

『大学生観光まちづくりコンテスト青森ステージ』ポスターセッション優秀賞

平成 28 年 9 月 6 日（火）、全国の大学生が観光プランを競い合う『大学生観光まちづくりコンテスト青森ステージ』が開催され、県内外の大学から 14 大学 35 チームが参加しました。

本学人文社会科学部からは「チーム 弘前大学じゃいご娘」（代表 伊東 遥さん）が参加し、惜しくも本選進出は逃したものの、ポスターセッションでの最高賞に当たるポスターセッション優秀賞を受賞しました。

同チームは、田舎館村と黒石市のお米と歴史という 2 つの資源を活用し、両地域の滞在時間の増加を目指した観光プランを提案し、高い評価を得ての受賞です。

今後も、本学部は大学生のアイデアをさまざまな形で具現化し、一層の人材育成に取り組んでいきます。



「チーム 弘前大学じゃいご娘」

人文社会科学部 講演会「International Forum2016」を開催

平成 28 年 9 月 9 日，人文社会科学部 4 階，多目的ホールにて「International Forum2016」を開催いたしました。講師としてフンボルト大学ベルリンより Philip J van der Eijk 氏ならびに Arachne van der Eijk-Spaan 氏をお迎えし，「Health, Lifestyle and Responsibility in Ancient Medical and Philosophical Thought」（西洋古典古代の医学と哲学における健康・生活様式・責任），「Morality and Legality in Extremis」（極限状況における道徳性と合法性について）というタイトルでご講演いただきました。今井学部長のご挨拶，講師によるご講演，その後の質疑応答が行われました。ご多忙の中，佐藤学長もお見えになり，質疑にご参加頂きました。

人文社会科学部では，今後もこのようなフォーラムを開催し，グローバル化の推進に寄与していきたいと考えています。



Philip J van der Eijk 氏



Arachne van der Eijk-Spaan 氏

「第10回弘前大学鷹揚さくら会」を開催

平成28年9月16日(金)、本学に勤務した事務系・技術系職員と現職員の交流を目的として「第10回弘前大学鷹揚さくら会」を本学大学会館「大集会室」で開催しました。

総会、記念撮影ののち、学内見学を行い、弘前市景観重要建造物に指定されている建物を活用した弘大カフェや改修した事務局棟、附属図書館等を見学しました。

引き続き、「大集会室」に場所を戻して行われた懇親会では、佐藤学長、OBを代表して遠藤前学長が挨拶し、菅原正弘氏(在職当時事務局長)の発声で乾杯した後、集まった約80名の参加者は弘前大学での思い出などで和やかに懇談し旧交を温め、大学の現状等についても意見交換を行いました。



ウズベキスタンのタシュケント州立農科大学と 30 校目の大学間交流協定締結

本学と中央アジア 2 校目となるウズベキスタンのタシュケント州立農科大学との大学間交流協定の調印が平成 28 年 9 月 19 日付けをもって滞りなく完了しました。(有効期間 5 年, 自動更新)

タシュケント州立農科大学は、ウズベキスタンの首都タシュケントに 1930 年に設置されました。1 学部 7 学科, 大学院 43 コースを有し, 学生数約 6,500 人の州立大学です。世界 43 機関と国際交流協定を締結しており, 日本との協定は本学が 2 校目となります。

本学とは 2014 年度から国際協力機構 (JICA) の受託事業で「リンゴ栽培技術の近代化による農家の生計向上事業」を実施してきたことから交流が始まりました。2015 年度には副学長及び国際交流担当者を含む総計 9 名の教員が来日して藤崎町と弘前市で研修を行い, その際, 本学にも来学して学長、理事、学部長を含む本学関係者との交流を行っています。その後, 農学生命科学部 荒川教授と神田名誉教授がタシュケント州立農科大学を訪問してモデル園を開園し, リンゴ栽培技術と農業協同組合について講義を行う等リンゴ栽培の問題について助言・指導を行うといった交流が継続して行われてきました。また, 協定締結直後の今年 11 月初めにも副学長を含む 6 名の研究者が本学を訪問し, 研修及び学長表敬訪問を行っています。

ウズベキスタンは、農家の生計向上と国の経済的な発展のために、近代的な農業技術の導入に力を入れており、特にリンゴ「ふじ」の栽培が急速に増え、近代的な栽培技術の教育や研究に対する関心が高いところがあります。近代的な農業技術の導入のために、リンゴ以外にもさまざまな技術への関心が高く、弘前大学との教育・研究の交流による効果が期待されています。



タシュケント州立農科大学との協定書



タシュケント州立農科大学キャンパス

「弘前大学グリーンカレッジ」平成28年度第1回ホームルームを実施

平成28年9月21日（水）、佐藤敬校長（弘前大学長）及び伊藤成治副校長（弘前大学教育担当理事）が出席し、弘前大学グリーンカレッジ生（以下「カレッジ生」）を対象に今年度第1回「ホームルーム」を行いました。この第1期生のホームルームは昨年度から引き続きホームルーム長の進行により実施され、今年度前期の受講を終了しての感想や希望などを伺いました。

当日は、カレッジ生活の感想として「カレッジ生としての学びにはじまり、それ以外の色々な学びへと広がってきていて、これからもさまざまなことに挑戦したい」、「来年度、社会人入試を受けたいと考えている」といった感想や、「開講科目の公表を1年分まとめてお知らせいただきたい」といったご要望が聞かれました。



佐藤校長㊦と伊藤副校長㊦



弘前大学グリーンカレッジ生

ウズベキスタンのサマルカンド農業学院と 28 校目の大学間交流協定締結

本学と中央アジア初となるウズベキスタンのサマルカンド農業学院との大学間交流協定の調印が平成 28 年 9 月 22 日付けをもって滞りなく完了しました。(有効期間 5 年, 自動更新)

ティムール朝のもとで「青の都」と呼ばれ頂点を極めたサマルカンドに所在するサマルカンド農業学院は、4 学部 16 課程、大学院 12 コースを有し、学生数約 5,000 人の州立大学です。本学とは 2014 年度から国際協力機構 (JICA) の受託事業で「リンゴ栽培技術の近代化による農家の生計向上事業」を実施してきたことから交流が始まりました。2015 年度には国際交流担当者を含む総計 9 名の教員が来日して藤崎町と弘前市で研修を行い、その際、本学にも来学して学長、理事、学部長を含む本学関係者との交流を行っています。その後、本学農学生命科学部の荒川教授と神田名誉教授がサマルカンド農業学院を訪問してモデル園を開園し、リンゴ栽培技術と農業協同組合について講義を行う等リンゴ栽培の問題について助言・指導を行うといった交流が継続して行われてきました。

ウズベキスタンは、農家の生計向上と国の経済的な発展のために、近代的な農業技術の導入に力を入れており、特にリンゴ‘ふじ’の栽培が急速に増え、近代的な栽培技術の教育や研究に対する関心が高いところがあります。近代的な農業技術の導入のために、リンゴ以外にもさまざまな技術への関心が高く、弘前大学との教育・研究の交流による効果が期待されています。また、ウズベキスタンは親日的であり、日本語や日本の文化への関心が高い国であり、学生交流、特に大学院学生の受入れが期待される場所です。

なお、本学における大学間交流協定は、平成 28 年 5 月 13 日に締結されたオアハカ州立自治ベニトフアレス大学 (メキシコ) に続いて 28 校目となり、今回のサマルカンド農業学院との協定により、中央アジアとの国際交流の進展が期待されます。



ウズベキスタンのサマルカンド農業学院

中華人民共和国の新疆工程学院と 29 校目の大学間交流協定締結

本学と新疆工程学院との大学間交流協定の調印が、郵送方式により相互に署名され、平成 28 年 9 月 23 日付けをもって滞りなく完了しました。(有効期間 5 年、自動更新)

新疆工程学院は、1958 年に設置され、12 学部、2 研究所、7 センターを有する学生数約 8,000 人の国立大学です。新疆ウイグル自治区の首府ウルムチ市にあり、現在ウイグル族のほか、漢族、カザフ族、キルギス族、モンゴル族など様々な民族が在籍しており、中国新疆ウイグル自治区内唯一の工業系大学として、特に資源およびエネルギー開発の教育研究拠点としての役割が期待され、今後飛躍的な発展が期待されている大学です。

本学との交流は 2013 年に北日本新エネルギー研究所（当時）の阿布里提教授が新疆工程学院長から新エネルギーについての講演を依頼され、共同研究がスタートしたところから始まりました。本学には現在、新疆ウイグル自治区出身の留学生が理工学研究科博士前期課程に 2 名いる他、これまでに数名の留学生が理工学研究科、人文社会科学研究科、教育学研究科を修了しています。本学教員が共同研究を進めながら、毎年新疆工程学院を訪問してセミナーを開催するなどの教育研究交流を行い、また新疆ウイグル自治区における環境学や地理学等の分野に関する調査研究活動を行ってきました。そしてこの度、新疆工程学院院長からの提案により大学間交流協定の締結に至りました。

今回の大学間交流協定締結によって、「エネルギー・環境問題」を国際的視点に立って理解を深めることや、本学が今後この分野をリードしていくことの姿勢を示すことが期待できると同時に、新たな文化圏との交流関係の構築を通して実り多い連携が展開できるようになります。

なお、本学における大学間交流協定は、平成 28 年 9 月 22 日に締結されたサマルカンド農業学院（ウズベキスタン）に続いて 29 校目となります。



新疆工程学院キャンパス（中華人民共和国）

学長定例記者会見を実施

平成 28 年 9 月 27 日（火）、弘前大学総合教育棟 1 階 共用会議室において、学長定例記者会見を行いました。

会見では、佐藤学長から「第 3 期中期目標・中期計画(3つの戦略)に係る進捗状況について」など 5 つの事項について説明を行いました。

【記者会見項目】

1. 第 3 期中期目標・中期計画「3つの戦略」に係る進捗状況について
2. 第 16 回弘前大学総合文化祭について
3. 「ホームカミングディ 2016 in 弘前大学」の開催について
4. 浪江町 弘前大学 連携協定締結 5 周年記念講演会の開催について
5. 平成 28 年度文部科学省科学技術人材育成費補助事業
ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（牽引型）選定について



会見に臨む佐藤学長



記者会見場の様子

弘前大学名誉博士称号授与式を実施

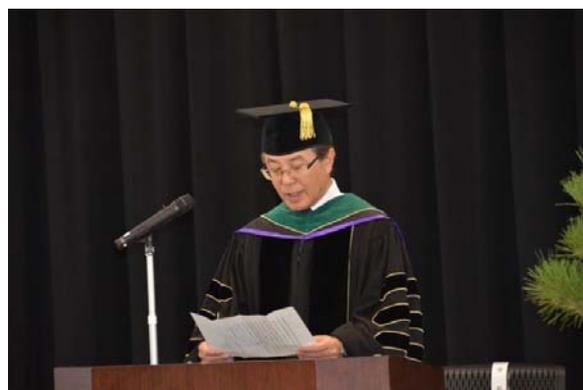
平成 28 年 9 月 28 日（水）、弘前大学学生会館 3 階大集会室において、関係者出席の下、嶋昭紘氏（公益財団法人放射線影響協会理事）に対する弘前大学名誉博士称号授与式が厳かに執り行われました。

本学では、我が国の学術文化の発展に多大な貢献と本学の教育研究の進展に顕著な功績があった方へ、「弘前大学名誉博士」の称号を授与することとしております。この度、本学における放射線科学及び被ばく医療に関する教育研究の取組に対して、立ち上げ期から現在に至るまでの同氏による本学への貢献が評価され、称号の授与に至ったものです。

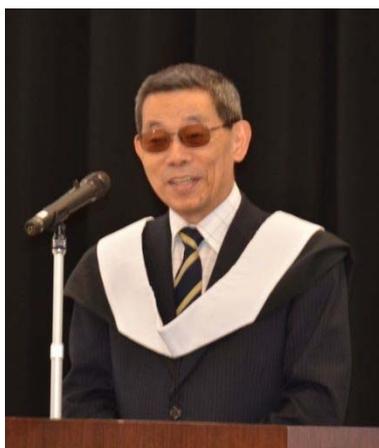
なお、名誉博士の称号の授与は、嶋氏で 16 人目となります。



嶋氏への名誉博士称号授与



祝辞を述べる佐藤学長



挨拶する嶋 昭紘 氏



関係者による記念撮影

食料科学研究所「青森フルコース社会実装試験（演奏公演・試食会）」開催

弘前大学食料科学研究所は、9月28日（水）、青函圏の産学官金の関係者ら140名を対象に、青森ワイナリーホテルにおいて「青森フルコース社会実装試験（演奏公演・試食会）」を開催しました。

同研究所は、津軽海峡交流圏を核とした北日本の食を移出・輸出し外貨を稼ぐ「北日本食の成長戦略」を提案し、北日本の食の高付加価値化を目指し、機能性に関する研究を行うとともに、中規模総合大学の強みを活かし、文系、理系、芸術を融合（文理芸術融合）させた食の総合プロデュースによる世界に向けたブランド化を目指した取り組みを行っています。

今回の社会実装試験は、同研究所の趣旨に賛同する青森ワイナリーホテルと共同でレシピ開発を行い、同ホテルでのフルコース導入に向けて、地域の産学官金各団体のトップの他、関係機関の若手、女性職員らを招いて実施したものです。

演奏公演では、凄腕ジャズピアニストと称されるスガダイロー氏が「廃藩置県」をテーマとした自作曲を熱演し、独創的かつ力強い演奏に会場は圧倒されました。次いで青森市の和洋構成ユニット白神が「青森県の四季と食材」をテーマに津軽三味線や横笛、鍵盤楽器による迫力ある演奏と青森の四季を紹介する映像を披露し、参加者は地域の文化・伝統の魅力に耳を傾けていました。試食会では、陸奥湾産ホタテの半成貝やヒラメ、短角牛、ゴボウ、カシスなど青森市産の食材を中心に8品の料理が提案され、華やかな料理の数々に舌鼓を打ちつつ、味や価格設定について慎重に吟味しました。

同研究所と同ホテルでは参加者から集めたアンケート結果の分析を進め、料理の価格面や構成などを検討し、「Farm to Table（生産現場から食卓へ）」をキーワードに食材の研究、商品開発に繋げていくとともに、食材の輸送方法、レストラン経営なども含めた「食の総合プロデュース」による地域貢献活動を進めていく予定です。



関係者による記念写真



青森フルコース

生涯学習教育研究センター
「白神自然環境人材育成講座」開講式を実施

平成28年9月29日（木）、弘前大学は、「白神自然環境人材育成講座 開講式」を実施しました。

開講式には、弘前市と周辺市町村在住の20～70代の履修生10名のうち9名が出席し、佐藤敬学長から「2年間の講座を通して、皆さんの生活に新たな側面が生まれ、地域において更に大きな役割を果たしていただければ幸い」との挨拶のあと、履修生を代表して、平川周二さん（弘前市）が宣誓を行った。開講式に引き続き、ガイダンスも行われ、今後の受講に向けた説明にも、履修生は熱心に耳を傾けていました。

この講座は、弘前大学における履修証明プログラムに関する規程に基づくものであり、120時間以上の履修等の要件を満たした修了者には、履修証明書が発行されます。講座では、白神山地をはじめとする青森県の自然環境に深い見識を持ち、環境の保全に配慮しながら、自然資源の管理と活用をすることのできる人材の育成を目的としており、弘前大学の教養科目（96時間）と白神を深く学ぶ特設科目（47時間）を組み合わせた計10科目（143時間）の専門人材育成講座で、白神山地と周辺地域について体系的に学ぶことができます。特設科目の約半分が実査とワークショップからなり、実践的に学ぶことが特徴です。

講義は、平成28年10月6日（木）から始まり、2年間をかけて学びます。修了後は、弘前大学が実施する白神をテーマとした事業への参画や、地域に新たな価値をもたらすことが期待されます。



挨拶する佐藤学長



ガイダンスの様子

平成 28 年度秋季学位記授与式を挙

平成 28 年 9 月 30 日（金）、弘前大学大学会館 3 階大集会室において、平成 28 年度秋季学位記授与式が関係者出席の下、厳かに行われ、佐藤学長から学位記が各学部及び各研究科それぞれの代表学生に授与されました。

学長告辞

秋色まさにたけなわの中、本日、ここ弘前大学大学会館大集会室において平成 28 年度秋季学位記授与式を挙



式を挙

すことは、私たち弘前大学職員にとって大きな喜びとするところで

す。本日、学位記授与の対象となられた皆さんの中には、秋季入学、大学院修業年限短縮や長期履修、その他さまざまな状況の方々が含まれると推察しますが、皆さんがそれぞれの状況の中で努力されてきたことが今日の学位記授与に結実したことは間違いありません。皆さんのこれまでの努力を称えるとともに、本日、学位を取得し本学を卒業される皆さんに心からお祝いを申し上げます。皆さん、誠におめでとうございます。

さて、私たちを取り巻く現状が、自然や経済、政治などすべての面において大きく変動しつつあることを感じざるを得ない今日にあって、皆さんには、地域はもちろん、我が国、ひいては国際社会のリーダーとして未来を力強く担い、切り開いていただかなければなりません。特に最近の大規模自然災害、そして世界各地で発生しているテロや紛争などは、これまでの歴史や経験を凌駕するもののように思えてなりません。また、人口減少などに伴って、特に地方社会は力を失っていくことが危惧されています。しかしながら、何時の世も人類は不確実な時間の流れを生きてきたのも事実だと思います。私たち個々の営みは極めて限定的ではありますが、その積み重ねが歴史をかたち創ってきたことも間違いありません。したがって、今後、皆さんは社会が直面するさまざまな課題の解決に果敢に挑戦するリーダーとなる気概を持って欲しいと願っています。

こう思う時、まさしく人生は学びの継続であると言わざるを得ません。皆さんがこれまで学んできたことは、一生を通して学ぶための助走のようなものだったと言っても過言ではないと思います。これまでの学びが役に立たないということではなく、私たちは日々新たな課題に直面しなければならぬからです。これまでの学びの成果を活かし、そして時には大いに創造性を発揮しながら、かつ新たな経験を次への糧にして、やがて社会をリードする人になって下さるよう、激励を送ります。

言うまでもなく、高等教育の役割は教育研究と人材育成を通して社会に貢献することにあります。本日まで出席の皆さんの多くは、今後の活躍の場は既に決まっていることと思いますが、皆さんの今後の進む道が如何なるものであっても、高等教育機関としての弘前大学の役割は、今後の

皆さんのお仕事を通して全うされるものです。そのためにも、皆さんのご健勝とご多幸を心からお祈りして告辞と致します。

平成28年9月30日
弘前大学長 佐藤 敬



学生歌斉唱の様子

諸会議

▼役員会

9月5日（月）

審議事項

1. 国立大学法人弘前大学職員懲戒等委員会において調査・審査すべき事案について
2. ポイント制について
3. 国際関連組織の再編等に係る学内規則等の一部改正等について
4. 弘前大学とタシュケント州立農科大学との大学間交流協定締結について
5. 弘前大学とサマルカンド農業学院との大学間交流協定締結について
6. 弘前大学と新疆工程学院との大学間交流協定締結について
7. 弘前大学大学院医学研究科規程の一部改正について
8. 弘前大学医学部規程の一部改正について
9. 弘前大学医学部附属病院規程等の一部改正について
10. 国立大学法人弘前大学職員の勤務時間、休暇等に関する規程の一部改正について
11. 平成29年度科研費申請の基本方針について
12. 男女共同参画推進のための体制整備について
13. 「国立大学法人等における情報セキュリティ強化」の実施に伴う学内規則等の整備について
14. 弘前大学資料館の機能強化について

報告事項

1. IRデータ管理システムについて
2. 教職大学院の設置審査について
3. 新たな組織評価制度について
4. 平成27事業年度及び第2期中期目標期間に係る業務の実績に関するヒアリングについて
5. 「ホームカミングデイ2016 in 弘前大学」の開催について
6. 「戦略1」進捗状況等について
7. 平成28年度人事院勧告について
8. 平成28年度補正予算（第2号）について
9. 平成29年度概算要求について
10. 免税アルコールの立入検査について
11. 会計実地検査の結果について（DNA合成製品の購入等）
12. オープンキャンパスの実施結果について
13. S-S-S評価に関する卓越した研究業績の根拠・データ例について
14. 弘前大学地域連携センター（仮称）設置検討委員会について
15. 平成28年度文部科学省ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（牽引型）選定結果について
16. 平成28年度北東北国立3大学連携推進会議連携協議会男女共同参画シンポジウムについて
17. 平成28年度弘前大学女性教員採用促進事業（女性研究者基盤整備等スタートアップ経費支援）について

-
18. 弘前大学COIヘルシーエイジングイノベーションフォーラムについて
 19. 第1回弘前大学原子力災害医療・総合支援センターネットワーク協議会の開催について
 20. 浪江町 弘前大学 連携協定締結5周年記念講演会の開催について
 21. 特定機能病院の承認要件の見直しについて

9月26日（月）

審議事項

1. 職員の懲戒等について
2. 国立大学法人弘前大学職員懲戒等委員会において調査・審査すべき事案について
3. 国立大学法人弘前大学公益通報処理規程の一部改正について

報告事項

1. 第3期中期目標・中期計画及び平成28年度計画の進捗状況について
2. 平成27事業年度財務レポートの公表について
3. 会計検査院法第30条の2の規定に基づく報告書について
4. 環境報告書2016について
5. 「遺伝子組換え動物の不適切な管理」に関する処分について
6. 八戸サテライト「イノベーション経営戦略講座」の実施について
7. COIプログラムに係る中間評価結果について
8. 「戦略2」及び「戦略3」の進捗状況について
9. 平成28年度医学部附属病院の収支実績見込みについて

▼教育研究評議会

9月13日（火）

審議事項

1. 弘前大学放射線安全機構規程等の一部改正について
2. 国際関連組織の再編等に係る学内規則等の一部改正等について
3. 弘前大学とタシュケント州立農科大学との大学間交流協定締結について
4. 弘前大学とサマルカンド農業学院との大学間交流協定締結について
5. 弘前大学と新疆工程学院との大学間交流協定締結について
6. 弘前大学における「三つの方針（案）」について
7. 競争的資金獲得向上対策費について
8. 平成29年度科研費申請の基本方針について
9. 男女共同参画推進のための体制整備について
10. 「国立大学法人等における情報セキュリティ強化」の実施に伴う学内規則等の整備について
11. 弘前大学大学院医学研究科規程の一部改正について
12. 弘前大学医学部規程の一部改正について
13. 弘前大学医学部附属病院規程等の一部改正について

14. 弘前大学資料館の機能強化について

報告事項

1. 教員の採用等について
2. ポイント制について
3. 「ホームカミングディ2016 in 弘前大学」の開催について
4. 平成28年度弘前大学ハラスメント対策講習会の実施について
5. 平成28年度弘前大学総合文化祭について
6. オープンキャンパスの実施結果について
7. 平成28年度弘前大学機関研究について
8. 平成28年度弘前大学若手・新任研究者支援事業の採択結果について
9. 平成28年度「青森ブランド価値創造研究」の審査結果について
10. 北東北3大学3銀行提携による地域版TLO「ネットビックスプラス」について
11. 平成28年度弘前大学科研費説明会の実施について
12. 弘前大学地域連携センター（仮称）設置検討委員会について
13. 平成28年度文部科学省ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（牽引型）選定結果について
14. 平成28年度北東北国立3大学連携推進会議連携協議会男女共同参画シンポジウムについて
15. 平成28年度弘前大学女性教員採用促進事業（女性研究者基盤整備等スタートアップ経費支援）
16. 弘前大学COIヘルシーエイジングイノベーションフォーラムについて
17. 浪江町弘前大学連携協定締結5周年記念講演会の開催について
18. 委員会等報告
 - (1) 教育委員会報告（7月27日開催分）
 - (2) 教育推進機構会議報告（7月6日、15日開催分）
 - (3) 教員免許状更新講習支援室運営委員会・教員免許状更新講習実施委員会合同会議報告（6月1日開催分）

▼教育委員会

9月28日（水）

審議事項

1. 弘前大学における再入学について
2. 弘前大学GPA値の算出方法等に係る再検討について
3. 弘前大学学生表彰作業委員会委員について
4. 平成28年度 後期授業料延納・月割分納について

報告事項

1. 平成28年度前期「学生による授業評価アンケート」実施結果について
2. 平成28年度後期「弘前大学高大連携公開講座」受講者について

-
3. 平成28年度後期「弘前学院大学との単位互換」特別聴講学生について
 4. 平成28年度前期における大学見学会の実施状況について
 5. 平成28年度岩谷元彰弘前大学育英基金募集要項について
 6. 平成28年度日本学生支援機構奨学生の追加推薦状況について
 7. 第16回総合文化祭期間中の教育委員会委員の対応について
 8. その他

新任教授紹介

【平成28年9月1日発令】



教授(医学系(保健科学領域)／大学院保健学研究科専任担当)

タカハシ ヤスユキ
高橋 康幸
採用

人事異動

[採用]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
H28年09月01日		高橋 康幸	教授(医学系(保健科学領域)／大学院保健学研究科専任担当)
H28年09月01日		地主 継	助手(医学系(臨床医学領域)／医学部附属病院専任担当) [H33.8.31まで]
H28年09月01日		新戸部 陽士郎	助手(大学院医学研究科地域救急医療学講座) [H32.3.31まで]
H28年09月16日		石川 啓介	看護師(病院・看護)

[任期更新]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
H28年09月01日	助教(大学院医学研究科地域健康増進学講座)	徳田 糸代	助教(大学院医学研究科オーラルヘルスケア学講座) [H31.3.31まで]
H28年09月01日	栄養士(教育・附小)	宮川 咲	栄養士(教育・附小) [H28.10.31まで]

[命]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
H28年09月01日	教授(医学系(臨床医学領域)／大学院医学研究科専任担当)	廣田 和美	医学部附属病院集中治療部長
H28年09月16日	教授(地域イノベーション学系(戦略的融合領域)／北日本新エネルギー研究所専任担当)	本田 明弘	教授(北日本新エネルギー研究所海洋エネルギー利活用研究部門) [H31.3.31まで]
H28年09月27日	助教(医学系(臨床医学領域)／大学院医学研究科専任担当)	敦賀 和志	学校医(保健管理センター) [H30.01.31まで]

[休業]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
H28年09月01日	助教(大学院医学研究科地域健康増進学)	沢田 かほり	職務復帰
H28年09月07日	看護師(病院・看護)	太田 あゆみ	育児休業開始 [H29. 3. 31まで]
H28年09月08日	主任(病院・総務)	小林 陽子	育児休業開始 [H29. 8. 31まで]
H28年09月15日	看護師(病院・看護)	金谷 里佳	育児休業開始 [H29. 9. 30まで]
H28年09月22日	教授(人文社会・教育学系(社会科学領域) / 人文社会科学部専任担当)	城本 るみ	職務復帰
H28年09月23日	看護師(病院・看護)	今 いつみ	育児休業開始 [H29. 9. 30まで]
H28年09月25日	助教(医学系(保健科学領域) / 大学院保健学研究科専任担当)	早狩 瑤子	育児休業開始 [H29. 3. 31まで]

[休職]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
H28年09月01日	栄養教諭(教育・附小)	菊地 純子	期間延長 [H28. 10. 31まで]
H28年09月01日	副看護師長(病院・看護)	工藤 文子	期間延長 [H28. 10. 31まで]
H28年09月14日	事務職員(医)	石川 直哉	復職
H28年09月15日	副看護師長(病院・看護)	成田 育子	休職開始 [H28. 9. 30まで]

[離職]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
H28年09月30日	教授(人文社会・教育学系(教育・芸術領域) / 教育学部専任担当)	松本 敏治	辞職
H28年09月30日	助教(医学系(基礎医学領域) / 大学院医学研究科附属高度先進医学研究センター専任担当)	叶 鵬	辞職
H28年09月30日	助教(医学系(臨床医学領域) / 医学部附属病院専任担当)	中山 義人	辞職
H28年09月30日	助教(医学系(臨床医学領域) / 医学部附属病院専任担当)	千葉 仁美	辞職
H28年09月30日	助教(医学系(臨床医学領域) / 医学部附属病院専任担当)	塩崎 崇	辞職
H28年09月30日	助教(医学系(臨床医学領域) / 医学部附属病院専任担当)	小笠原 ゆかり	辞職
H28年09月30日	助教(医学系(臨床医学領域) / 医学部附属病院専任担当)	矢越 雄太	辞職
H28年09月30日	助教(自然科学系(農学・生命科学領域) / 農学生命科学部附属生物共生教育研究センター専任担当)	松本 和浩	辞職
H28年09月30日	助教(大学院医学研究科地域医療学講座)	丹藤 利夫	辞職
H28年09月30日	助手(医学系(臨床医学領域) / 医学部附属病院専任担当)	野呂 大輔	辞職
H28年09月30日	助手(医学系(臨床医学領域) / 医学部附属病院専任担当)	淵之上 康平	辞職
H28年09月30日	副看護師長(病院・看護)	成田 育子	辞職
H28年09月30日	看護師(病院・看護)	斎藤 文	辞職

主要日誌

- 9月 5日 第463回役員会
9日 人文社会科学部 講演会「International Forum2016」
13日 企画戦略会議
〃 教育研究評議会
14日 経営協議会
16日 第10回弘前大学鷹揚さくら会
20日 事務連絡会議
21日 「弘前大学グリーンカレッジ」平成28年度第1回ホームルーム
22日 ウズベキスタンのサマルカンド農業学院と28校目の大学間交流協定締結
23日 中華人民共和国の新疆工程学院と29校目の大学間交流協定締結
26日 第464回役員会
27日 学長定例記者会見
28日 弘前大学名誉博士称号授与式
28日 食料科学研究所「青森フルコース社会実装試験（演奏公演・試食会）」
〃 教育委員会
29日 生涯学習教育研究センター「白神自然環境人材育成講座」開講式
30日 平成28年度秋季学位記授与式

学内規則

(平成28年9月16日一部改正)

(一部改正)

○弘前大学放射線安全推進会議規程

○国立大学法人弘前大学コンプライアンス基本規則

○期末手当及び勤勉手当支給に係る役職段階別加算額の取扱について

○弘前大学部局情報セキュリティ管理者に関する要項

放射線安全機構が審議機関であることを明確にするため、「放射線安全機構」から「放射線安全推進会議」に名称を変更するとともに、会議の成立及び議決要件を規定する。また、委員について放射線安全推進会議の運営上必要となる者を加えることにより円滑な運営を図るため、上記の規程等を一部改正した。

(平成28年9月16日一部改正)

(一部改正)

○弘前大学大学院医学研究科規程

大学院医学研究科における新たな寄附講座の設置及び廃止に伴い、関連の教育研究分野及び授業科目の見直しを行うため、上記の規程を一部改正した。

(平成28年9月16日一部改正)

(一部改正)

○弘前大学医学部規程

医学部保健学科において実施しているカリキュラム点検の結果に基づき、放射線技術科学専攻及び検査技術科学専攻において、授業科目の開講時期の変更及び授業内容の見直しによる単位数の変更を行うため、上記の規程を一部改正した。

(平成28年9月16日一部改正等)

(一部改正)

○弘前大学男女共同参画推進室運営規程

(制定)

○弘前大学男女共同参画推進委員会要項

男女共同参画推進室に、当該組織の事業に関する事項を審議する「弘前大学男女共同参画推進委員会」を置くことを規定するとともに、同委員会の組織、運営などに係る規定を整備し、本学の男女共同参画推進体制を明確化するため、上記の規程等を一部改正等した。

(平成28年9月16日一部改正)

(一部改正)

○弘前大学資料館規程

弘前大学資料館について、組織体制等を見直し、弘前大学を「知り」、「学び」、「伝える」ための拠点としての機能及び最新の研究成果の紹介機能を強化することで、見学施設としての役割の充実を図るため、上記の規程を一部改正した。

(平成28年9月16日制定等)

(制定)

- 国立大学法人弘前大学情報システム運用基本方針
- 国立大学法人弘前大学情報システム運用基本規程
- 弘前大学全学情報システム運用委員会要項
- 弘前大学情報セキュリティインシデント対応チームに関する要項

(一部改正)

- 国立大学法人弘前大学コンプライアンス基本規則
- (廃止)
- 国立大学法人弘前大学情報化統括責任者(CIO)等の設置に関する規程
- 弘前大学情報セキュリティ委員会規程
- 弘前大学情報セキュリティポリシー

文部科学省から「国立大学法人等における情報セキュリティ強化」のため、必要な対策を組織的、計画的に実施するよう要請があったことを受け、新たに全学情報総括責任者を置き、その直接的な指揮の下、本学の保有する情報の保護と活用及び適切な情報セキュリティ対策を全学的に実施する体制を整備するため、上記の規程等を制定等した。

(平成28年9月16日一部改正)

(一部改正)

- 弘前大学医学部附属病院規程
- 国立大学法人弘前大学職員の勤務時間、休暇等に関する規程

医学部附属病院の中央診療施設等である「MEセンター」を「臨床工学部」に名称を変更するため、上記の規程を一部改正した。

(平成28年9月28日一部改正等)

(一部改正)

- 国立大学法人弘前大学管理運営規則
 - 弘前大学学則
 - 国立大学法人弘前大学事務組織規程
 - 国立大学弘前大学職員給与規程
 - 国立大学法人弘前大学会計機関等の事務及び職位等に関する規程
 - 国立大学法人弘前大学予算管理規程
 - 弘前大学教育学部規程 ほか5件
-

(廃止)

○弘前大学教員免許状更新講習実施規程

○弘前大学免許状更新講習支援室規程

平成 27 年 10 月に教育研究院教員養成部門が新設されたことに伴い、その部門の責任部局である教育学部が、教員免許状取得から教員免許状更新までの一元的な教員養成体制を構築し、教員養成に係る一層の機能強化を図るため、上記の規則等を一部改正等した。

(平成 28 年 9 月 28 日一部改正等)

(一部改正)

○国立大学法人弘前大学管理運営規則

○弘前大学国際連携本部規程

○国立大学法人弘前大学事務組織規程

○国立大学弘前大学職員給与規程

○国立大学法人弘前大会計機関等の事務及び職位等に関する規程

○国立大学法人弘前大学予算管理規程

○国立大学法人弘前大学不動産管理規程

○弘前大学国際連携本部運営会議要項 ほか 58 件

(制定)

○弘前大学グローバル化戦略会議要項

(廃止)

○弘前大学国際教育センター規程

全学的なグローバル化を推進するとともに、組織を超えた連携による教育研究のさらなる国際化及び地域の発展を担うグローバル人材育成のため、本学の国際関連組織等について再編し、体制を強化するほか、当該業務等に係る事務組織体制についても、整備するため、上記の規則等を一部改正等した。

(平成 28 年 9 月 28 日一部改正)

(一部改正)

○国立大学法人弘前大学公益通報処理規程

厚生労働省が定める特定機能病院の承認要件の見直しに伴い、医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口設置に関連し、法令違反行為に関する通報等に係る通報者保護に関する事項について明確化するため、上記の規程を一部改正した。

弘前大学学報第150号

弘前大学総務部総務広報課
036-8560 弘前市文京町1
電話 (0172) 36-2111